

北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州・山口地域の産業発展に貢献する

NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号
TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453
E-Mail: info@npo-kts.org URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.43

2024年 夏号



NPO-KTS



部境灯台(北九州市門司区)

第22回通常総会の冒頭挨拶

会長 影山 隆雄



第22回通常総会の開会にあたり、一言挨拶を申し上げます。本日は、お忙しい中、総会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、会員の皆様には平素からNPO法人北九州テクノサポートの活動にご参加とご協力を賜りまして、お礼申し上げます。

国内では新型コロナウイルスの感染症法律上の位置づけが5類に移行したことにより社会経済活動の正常化が進み、今年度は長年続いたデフレから脱却して底堅い成長軌道に戻るとみられています。そこで鍵を握るのが人手不足への対応です。

当法人は、これら社会情勢の影響を受けながらも、その設立目的である「中小企業支援を通じて産業振興を図り、まちづくりに貢献する」をスローガンに関係機関のご支援のもと、種々の困難を乗り越えて活動を進めています。

今年度は、北九州市風力発電人材育成連絡会業務の支援をはじめ、インターンシップのコーディネーター事業は、若い人材の地元企業への就職率向上に

寄与する重要な業務ですので、コーディネーターの若返りを図り、受入企業の登録支援を進めます。

ビジネスマッチングを支援している展示会「課題解決EXPO2024」が7月上旬に開催される予定であり、デジタルトランスフォーメーション(DX)による生産性向上に関連する展示内容が多くなっていますので、コーディネーターのDX研修を含めて準備を進めています。

また、エコアクション21地域事務局は「環境未来」として5年目となりますが、中小企業にとって脱炭素社会に向けたグリーントランスフォーメーション(GX)実現に認証登録が重要であることをご理解いただき、事業者拡大に力を注ぐ計画です。より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、当法人の設立目的のソーシャルミッションにご賛同いただき、今回の総会会場をご提供いただきました社会起業大学九州校様に感謝を申し上げますと共に、本日ご臨席の皆様方のご健勝と会員企業の皆様の益々のご隆盛、ご発展を祈念いたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。

Topics 1. 2024年度 北九州テクノサポート通常総会開催

2024年度総会(第22回通常総会)が6月11日(火)に社会起業大学九州校において正会員のみの出席で開催されました。開始に先立ち、会長挨拶に続いて事務局より定款に則った総会成立の報告がなされ、指名された議長(影山会長)により議事が進められ、次の3議案の報告がなされ、採決が行われ、3議案とも承可・可決されました。なお、本総会に引き続き「特別講演」は会員に加え各界からのご参加を得て実施されました。

1) 第1号議案(2023年度事業報告他)

◇ 2023年度事業報告(事業総括) ◇

2023年度の日本経済は、新型コロナウイルスの国内感染症法上の位置付けが5類に移行し、経済活動の正常化が進みました。しかし、国際的な原材料価格の上昇、円安を背景に、物価高による消費下押しと人手不足による設備投資の遅延に加え、後半になって自動車型式認証制度問題と能登半島地震の影響もあり、景気回復が足踏みしました。一方、九州では半導体関連と物流拠点で中長期的な需要増加を見越した大型の設備投資が複数継続的に実施されたことが、経済をけん引し、昨年12月の日銀短観でも九州企業の増収増益の傾向が示されており、人手不足や価格転嫁の進展を背景に中小企業でも賃上げの機運が普及しました。

NPO法人北九州テクノサポート(KTS)は、2023年度に創立20周年を迎えて功労者の表彰をはじめ記念講演会の開催と記念誌の発行を行いました。昨年度の活動を振り返ってみると、経済活動の正常化に伴って、EA21の地域事務局「環境未来」は、中小企業のグリーントランスフォーメーション(GX)に向けた活動を支援していますが、全国的に認証登録企業が微増傾向にある中、自治体や地域の信用金庫との連携による普及活動の結果、2022年度の312社をボトムに2023年度は322社へ2桁増加させる成果が得られました。北九州市はGXに向けた洋上風力発電を製鉄と自動車に次ぐ第3の産業に育成することを目指して産業集積と基盤整備を図っていますが、当法人は前年度に続き2023年度も北九州市風力発電人材育成連絡会業務の支援を担いました。インターンシップ受入企業の登録は、前年度比で2桁増加に転じると共に、展示会におけるビジネスマッチング事業は、入場者数がコロナ前の水準まで回復するとともに、コーディネーターによる商談見込み金額が前年度比で6倍に大幅増加するといった成果が得られました。KTSは、多様なキャリアを持った技術者集団であり、IT活用支援グループが整備したオンライン会議ツールTeamsとZoomなどを駆使しながら、第4次産業革命の勉強会やKTSの会員相互情報交換会等で新技術の習得や相互理解を深めて、地域産業の振興と活力あるまちづくりへの貢献を目指し、以下の活動を展開しました。

▶ (主な活動及び各支援Gr.活動報告は2ページ以降に掲載)

2) 第2号議案(2024年度事業計画他)

◇ 2024年度事業計画(基本方針) ◇

2024年度の日本経済は、失われた30年から内需を中心とした底堅い成長軌道に戻るとみられています。そこで鍵を握るのが人手不足への対応です。人材獲得競争の激化から従来に比べて高めの賃金上昇が続くなか、物価上昇率の鈍化が重なり、実質賃金は24年度半ば以降プラスに転じ、個人消費は回復に向い、企業業績が価格転嫁の進展などから堅調に推移すると共に、設備投資も拡大傾向が続くとみられています。設備投資の拡大から国内の資本ストックの蓄積が進むことに加え、事業効率化などにより生産性が向上くと想定されます。生産性向上のためには、労働移動の円滑化や企業の新陳代謝活性化が重要であり、なかでも中小企業では単純作業の削減にAIの活用やデジタルトランスフォーメーション(DX)を導入することが強く求められています。

当法人は、これら社会情勢の影響を受けながらも、Microsoft 365 Businessによるリモートワーク環境での情報共有を実施しており、本年度は繰り返し事務作業についてPython・VBAを活用した自動化に取組み業務効率向上を進めます。また、受託事業については、①北九州市風力発電人材育成連絡会業務の支援をはじめ、②インターンシップのコーディネーター事業は、コーディネーターを増やして受入企業の登録支援を進めます。③ビジネスマッチングを支援している展示会は、製造技術イノベーション展と中小企業テクノフェアにDX推進フェアを加えた「課題解決EXPO2024」が7月上旬に同時開催される予定であり、コーディネーターのDX研修を含めて準備を進めています。④エコアクション21地域事務局は「環境未来」として5年目となりますが、中小企業にとって脱炭素社会に向けたグリーントランスフォーメーション(GX)実現に認証登録が重要であることをご理解いただき登録企業拡大に力を注ぐ計画です。

その対応方針は、支援を必要とする企業をこまめに探し、その課題解決にグループ横断で協力して対応し、その企業の成長を支援し、地域の一層の発展に貢献することを目指します。組織的には定年年齢の引き上げに伴って高齢化が進んでいますが、企業OBとして豊富な経験・知識・人脈を持ち活動意欲のある人材を仲間と呼び込み、その力を活かし地域の他の組織と連携や協業を進め、実働部隊・つなぎ役として地域産業を下支えする活動を促進する計画です。

▶ (実施計画は6ページに記載)

3) 第3号議案(役員改選)

◇ 役員改選 ◇

定款に則った任期満了に伴う役員改選を行い、理事候補12名(新任1名、再任11名、計12名)、監事候補2名(再任)並びに退任理事3名が紹介され、了承・可決されました。



<<役員紹介>>

2024年7月度理事会(7/1開催)において
会長以下三役が定款に則り、選出された。

会長 影山 隆雄
副会長 吉田 剛、古谷 長蔵
事務局長 堀 昭三

理事 日下 尚司、関屋 建三
手島 邦彦、徳永 昌哉
林 慶三郎、松本 昭喜
渡邊 朝子 (以上、再任)
寺山 雅也 (以上、新任)
監事 藤崎 正昭、吉開 悟
(以上、再任)

<<支援グループ(Gr.)再編>>

同上理事会において、併せて支援グループ7Gr.の6Gr.への再編が行われ、これまでの[技術経営ものづくり支援Gr.]と[環境・省エネ支援Gr.]を統合し、[技術・環境経営ものづくり支援Gr.]に改称された。

北九州市 産業経済局長 柴田 泰平



NPO法人北九州テクノサポートの会員の皆様には、設立以来、豊富な経験と知識を活かし、地域企業への技術支援をはじめ、地元大学生のインターンシップ活動や、ビジネスマッチングなど、地域の企業支援に多大なるご尽力をいただいております。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

中小企業を取り巻く社会・経済環境を見わたすと、生産年齢人口の減少による深刻な人手不足、急激な円安や資材価格の高騰、デジタル化やグローバル化、カーボンニュートラルの実現など、常に大きな変化に直面しています。

こうした中、北九州テクノサポートの皆様におかれては、ものづくりの街北九州の中小企業をしっかりと支えていただき、大変心強く思っています。

北九州市では、このような社会情勢の変化に対応するとともに、「稼げるまち」の実現を目指し、本年2月に『北九州市産業振興未来戦略』を策定

いたしました。

この戦略では、第一に「地域経済の要である 中小企業の経営基盤の強化と稼ぐ力を高めるための高付加価値化を図ること」、第二に「多様で裾野の広い産業構造への転換を図るための成長産業を創出すること」、第三に「これまで北九州市が培ってきた豊富な資源の『民主導による』最大活用を促進すること」を掲げています。

この戦略の実現、そして北九州市の明るい未来を実現するためには、民間と行政がベクトルを合わせて一体となって取り組むことが不可欠です。

北九州市の産業を再起動させ、未来に向けて成長させていけるよう取り組んでまいりますので、引き続き、北九州テクノサポートの会員の皆様の変なご支援とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに貴法人のさらなるご発展とご健勝を心から祈念して、挨拶とさせていただきます。

2023年度事業報告

2023年度の主な活動

NPO法人北九州テクノサポートのご関係先との連携の下、7つの支援グループ(Gr.)の個別又はGr.間の協働並びにEA21地域事務局活動を行った。

2023年度の主な活動	関係先
北九州地域産業人材育成事業(地域連携型インターンシップ支援活動)	北九州地域産業人材育成フォーラム (公財)北九州活性化協議会
北九州市風力発電人材育成連絡会業務の支援	(公財)北九州活性化協議会
課題解決EXPO2023ビジネスマッチング事業	(公財)北九州観光コンベンション協会
北九州商工会議所アドバイザー活動の推進	北九州商工会議所
製品開発・業務改善指導など	地域の中小企業
広報誌(夏号/冬号)の発行創立20周年記念誌の発行	国、県、市、公共・学術機関、賛助会員、協賛会員
「第4次産業革命」勉強会資料による途上国支援	(公財)北九州国際技術協力協会
エコアクション21認証・登録事業の推進	(一財)持続性推進機構 EA21中央事務局
会員相互情報交換会(オンライン)1回	NPO-KTS会員、地元企業
新型コロナ感染防止のためテレワーク推進	NPO-KTS会員、関係先
よろず相談 5件	地域の中小企業

2023年度各支援グループ活動実績

◇ 技術経営ものづくり支援Gr. ◇

1. 技術支援活動

- 1) 地場の産学官連携を活用した企業課題解決支援活動は次年度送りとなった。
- 2) KTS内の他のGr.活動と連携して、企業課題の把握を進め、いくつかのテーマが発掘され、調査を継続した。
- 3) よろず相談の対応力強化を図り、4件の相談に対応した。

2. 対外的な活動人材の育成とスキル情報の整備

- 1) 情報交換会等を通じてグループメンバーのキャリアと資格などをリスト化し、活躍の場を探す。又、メンバーの役割分担等組織的な活動を目指した。
- 2) 技術研修会等の企画(2回/年程度)。地場企業からのニーズとFAIS等のシーズのマッチングを目指した研修会の開催を目指したが、本年は活動を見送った。
- 3) KTS全体の情報交換会(目標3回/年)を実施し、新規入会の勧誘、既存会員の活躍の場を作った。

3. 補助金等を活用した技術力向上への支援

- 1) 中小企業向け(技術関係の)各種補助金獲得の支援を進めた。

4. 公的機関からの仕事の受託促進

- 1) 公的機関(国・県・市)からの委託事業を開拓は実現できなかった。
- 2) 助成金の事前調査の委託を受け3社実施した。

◇ 産学官連携人材育成支援Gr. ◇

1. 北九州地域連携型インターンシップに関する事業

- 1) 研修型(短期)インターンシップに関する事業
受入れ登録企業は71社にとどまった。また、北九州市立大学国際環境工学部、産業医科大学産業衛生科学科のインターンシップ受入れ企業の誘致を行った。
- 2) 実践型(長期)インターンシップに関する事業
受入れ登録企業20社を目指したが、登録企業は9社に留まった。
- 3) 北九州高専長期インターンシップに関する事業
15社紹介の計画に対し、12社を紹介できた。

2. 「北九州市風力発電人材育成連絡会」の業務支援に関する事業

連絡会構成企業と教育機関の連携をとり、学生の風力発電関連企業への関心を高め、就職の後押しする活動を行った。

3. 「SDGs勉強会」の開催

北九州SDGsクラブへ参画しているが、会員の自己研鑽の場としての「SDGs勉強会」は開催できなかった。

(次ページに続く)

NPO-KTS法人会員の広報コーナー(No.1~2)



TAIKO
refractories CO.,LTD.
大光炉材株式会社

〒804-0054
北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL : 093-871-1631 FAX : 093-883-2151



総合福祉機器メーカーのリーディングカンパニーとして、
安心と快適を届ける技術で、お客様の生きる喜びを創造します。



義肢・装具・車いす・福祉用具/リハビリ機器

株式会社 有蘭製作所
代表取締役 有蘭 央

〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5
TEL 093-661-1010 FAX 093-661-1670
URL <http://www.arizono.co.jp>

(公財)北九州産業学術推進機構 専務理事 江副 春之



NPO法人北九州テクノサポートの皆様には、日頃より私どもも公益財団法人北九州産業学術推進機構の活動にご理解、ご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。

さて、猛威をふるった感染症が収束しつつある中、「生産性の向上」と「環境負荷の低減と事業の成長性の両立」が事業活動を前進させていく上での大きなテーマとなっていることは、皆さんご承知のとおりです。

まず、「生産性の向上」を図るうえにおいて、DX(デジタルトランスフォーメーション)は最も迅速に取り組むべき課題だと言われております。

私ども財団では、2022年4月に「ロボット・DX推進センター」の運営を担い、導入支援、操作体験、人材育成等の取組みを通して、DX推進やロボット導入に意欲のある地域企業を総合的・一元的に伴走支援しています。

次に、「環境負荷の低減と事業の成長性の両立」については、真にサステナブルな社会を実現させるため、こちらも避けて通ることのできない課題だと

思います。

近年、GX(グリーントランスフォーメーション)へ積極的に取り組む企業が増えてきていますが、私どもは、カーボンニュートラル等、高度かつ専門的な分野における研究開発や社会実装の推進、人材育成やマッチング支援等に取り組むことで、地域企業の方々に貢献したいと考えています。

昨年12月には、私どもを始めとした産官学金が一体となってこの取り組みを推進するため、「北九州GX推進コンソーシアム」を設立し、情報や議論の場の提供、ワンストップ相談窓口の開設、専門家派遣等を行っています。

このように、私どもは、財団単独での活動のみならず、行政や地域企業、高度教育機関、金融機関等との連携を促進し、産官学金のハブとしての機能を果たすため、強い使命感を持って臨みます。

北九州テクノサポートの皆様には、豊富な経験や技術、専門知識を是非、私どもの活動にお寄せいただき、これまで以上のご協力をお願いしたいと思っております。

2023年度各支援グループ活動実績

◇ 環境・省エネ支援Gr. ◇

1. 販売支援活動

- 1) 地元合馬産の竹粉販売(農家への配布)や、小倉城竹あかりのイベントに参加等で関わりの強化を進めた。また、竹竹粉の効能説明の既存パンフレット更新を目論むも次年度継続とした。
- 2) J-SCOREの技術紹介を受けて該当企業の探索を進めた。

2. KTS人材のスキル把握とPR

- 1) グループ員(新入会者)の資格等の取得内容把握を進めた。
- 2) 展示会やインターンシップ訪問向けにグループ人材のPRパンフレット作成を計画するも本件進捗せず、次年度以降の課題とした。

3. 補助金等を活用した技術力向上への支援

- 1) 省エネ補助金等の情報収集を進めた。
- 2) 省エネルギーセンターからの依頼を受けて省エネ診断を実施、また、北九州市環境局からの委託を受けエコプレミアム審査員として対応した。

◇ ISO・EA21 支援Gr. ◇

1. 各支援Gr.の活動とEA21審査員との連携強化

KTSの各支援Gr.の活動とEA21審査員との連携を深めることにより、EA21認証取得事業者の経営改善の支援を行った。

2. EA21認証取得事業者数の拡大

2023年度末の登録件数は316件と若干増加する結果になった。なお、2023年度の新規登録数は13件、取り下げ数は9件となった。

3. ISO認証維持・新規取得支援

ISO内部監査員の養成など、ISO、EA21の認証取得及び維持支援とともに、CO₂排出量の削減を目指した活動を支援した。

4. グループ会員の相互研鑽(審査・コンサルティング)技術の向上

グループ研修会を2回実施した。また、「EA21事例集」の改訂版を発行した。

5. 「エコアクション21だより」の発刊

KTS通信本誌の互版としてVol.18号を発行、配布し、また、PDF版を環境未来の全事業所に配信した。

◇ IT活用支援Gr. ◇

1. NPO-KTSのホームページ改版と維持管理体制確立

KTS通信、20周年記念誌、EA21地域事務局の情報、賛助会員企業の紹介などの維持管理を実施した。(広報・デザイン支援Gr.との協働)

2. 中小企業のIT活用支援

中小企業の業務効率改善として、EXCELマクロ利用による技術支援を実施した。(技術経営ものづくり支援Gr.と連携)

3. 「第4次産業革命」勉強会の開催

2016年度から取り上げたテーマについて、その後のDXやRPAなどの資料を整備した。又、その一部を2024年2月JICA九州での講演資料とした。

4. テレワーク環境構築による業務効率化とCO₂削減支援

1) テレワーク環境整備に導入したITツールの展開

KTS内部導入・運用中のMS Teamsの新バージョン対応を含むノウハウを蓄積し、中小企業の業務効率化に繋げる活動の基礎づくりを行った。

2) Pythonプログラミングによる業務自動化

KTS EA21地域事務局の繰り返し業務の自動化を図るため、費用面より内製化とし、VBAで対応した。

◇ 販路開拓ビジネス支援Gr. ◇

1. 課題解決EXPO2023のビジネスマッチング(BM)支援事業

1) 7月5日(水)~7月7日(金)の開催中、BM支援対象の出展企業は中小企業テクノフェアin九州 53社、西日本製造技術イノベーション 41社、西日本DX推進フェア 51社、合計145社になり、DX関連企業が増加したことから、昨年作成したDX対応のためのIT技術の資料等の活用を進めた。

2) 地元企業344社に対して橋渡し・割合せを行い674件のBM支援を実施した結果、9月末時点の商談可能件数38件、商談見込金額12,365万円の成果を得た。

2. 北九州商工会議所アドバイザー制度等による支援事業

約40名が登録し北九州商工会議所会員企業の支援を行う計画であったが、活動できなかった。また、他地域の商工会議所等との協働は、実現に至らなかった。

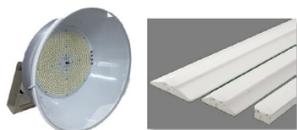
◇ 広報・デザイン支援Gr. ◇

1. KTS広報事業

- 1) KTS通信(Vol.41, Vol.42)発行(冊子、PDFメール、HP)による情報提供・PRを会員並びに各界に対して行った。又、広告掲載による賛助・協賛会員PRを行った。
- 2) KTS紹介媒体の更新を行い、KTS事業活動用に提供した。
- 3) KTS-HPの更新を行った。(IT活用支援Gr.との協働)
- 4) 正会員・賛助会員・協賛会員に対し、情報提供サービスを行った。
- 5) 中小企業への広告デザイン無償支援は行ったが、有償支援は実現しなかった。
- 6) KTS20周年記念事業の一環として、創立20周年記念誌を2023年10月1日に発行し、会員各位及び各界に配付した。また、関連情報の伝承を行った。

NPO-KTS法人会員の広報コーナー(No.3~4)

脱炭素! 電気代7.5%OFF
高効率LED照明



外出先から遠隔監視
Wi-Fi対応ネットワークカメラ



KOSEI JAPAN 限りある資源を未来に 地球環境に貢献!



株式会社コーセイジャパン

〒800-0315 福岡県京都市都賀町港町8-11
TEL 093-436-6136 FAX 093-436-6141

<https://www.kosei-japan.com>



千草ホテル
Chigusa Hotel

北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL093-671-1131
<http://www.chigusa.co.jp>

西日本工業大学 学長 鶴田 隆治



本日は総会開催、誠にありがとうございます。

昨年の学長就任後、北九州テクノサポート総会に初めて参加申し込みをしたところ、因らずも挨拶のご依頼をいただきました。大変貴重な機会ですので西日本工業大学の最近の取り組みについて紹介させていただければと思います。

西日本工業大学は令和9年に創立60周年を迎えます。北田町小波瀬キャンパスから始まり、2006年には西小倉にもキャンパスができましたが、今年から始まる5ヶ年の中期計画としてNIT-VISION60を策定しました。具体的には、学生の可能性を拡げ、自律を促し、社会で活躍できる人財を育成すること。もうひとつは、地域の課題解決に貢献する大学でありたいということを目指しています。そして、これらを推進することで、本学の課題のひとつである知名度の向上を図って参りたいと考えております。

その活動の一環として、本学の地域・産学連携センターに設置した総合防災研究所が7月13日に「北九州・苅田防災シンポジウム」をリバーウオークにある芸術劇場で開催します。能登半島地震でのDMATの活動や行政の職員さんの活動の様子などを市民の皆さまと共有しますので、北九州テクノサポート会員の方々にもご参加いただきたく思っております。

また、令和8年には西小倉キャンパス内に情報マネジメント学科を新設し、文理融合型でICTに強い事務系職員を育成することを計画しております。理系・文系を問わず、情報とビジネスマネジメントを横断的に学修し、地域企業の管理部門等での活躍を期待するもので、北九州地域の企業様方のDX化に貢献できるものと思っております。

最後になりますが、北九州テクノサポートの皆様のご支援を期待しておりますので、これからもどうぞよろしくお願いたします。

2023年度各支援グループ活動実績

エコアクション21地域事務局環境未来 2023年度活動実績

(1) エコアクション21導入セミナー並びに集合コンサルティング・実践講座を開催

山口県産業廃棄物協会、やまぐちエコ市場、福岡県、北九州市を開催し、エコアクション21の概要と取得事業者の活動事例発表を実施し新規認証・登録事業者の拡大を図っています。



導入セミナー・集合コンサルティング・実践講座

5グループに分けてディスカッションを行いました。

(3) エコアクション21事業者に対し中央事務局から感謝状を贈呈

長年にわたり熱心に取り組んでこられた事業者の内、当地域事務局扱い事業者は21社が贈呈対象となりました。

(4) 北九州市長感謝状授与制度の対象事業者の選考・上申

今年度は「(株)ニシテイ、九州・山口油脂事業協同組合、(株)吾水総合コンサルタント」の3社が「環境にやさしい取り組みを行い、成果をあげている事業者」として北九州市長から、感謝状及び記念品が授与されました。

(5) 認証・登録事業者 (全国でおおよそ7,490社)

当地域事務局環境未来では約320社を御世話しています。

★第4次産業革命勉強会★

この勉強会は、経済産業省が我が国の第4次産業革命元年を宣言した2015年度から会員のリスクリングと中小企業支援活動の高度化を目指して実施しています。2024年5月28日、Zoomオンライン開催した第27回目の勉強会は、福岡県機械電子研究所のご厚意によるもので、同所が3年前から中小企業のDXによる生産性向上のツールとして開発し、使い易さを一段と向上させた「IoT導入支援キットVer.3」の使用方法に関するもので会員9名と賛助会員の1企業が参加して実施しました。

BravePIセンサーボード群の活用事例

センシング機能	1. 検出入力	2. 検出出力	3. 検出センサ	4. 測定センサ
概要 応用例	スイッチや開閉センサの検出入力など	外部機器へのON/OFF出力 外部機器の制御など	赤外線や信号の検出と検知	温度センサ・湿度センサ・気圧センサ・気流センサ・気量センサ
センシング機能	2. 検出出力	3. ADコンバータ	4. 加減算センサ	5. 測定センサ
概要 応用例	対象物の検出と検知	電圧、電流の計測	距離や移動などを計測	風速を計測
	加工速度の管理	電圧、電流の管理	機器故障の検出(振動・温度等)	フィルタ目詰まりの検出

IoT導入支援キットのお問い合わせ先

【お問い合わせ先】

- プログラム、使い方に関すること
田口 智之(タグチ トモユキ)、前田 洋征(マエダ ヒロユキ)、
- 活用事例・連携に関すること
西村 圭一(ニシムラ ケイイチ)、奥村 克博(オクムラ カツヒロ)

福岡県工業技術センター 機械電子研究所 電子技術課 (IoT担当)
電話:093-691-0260(代表) E-mail: iot@fitc.pref.fukuoka.jp

【IoT導入支援キット、生産進捗管理システム「YokaKit」のダウンロード】
<https://www.fitc.pref.fukuoka.jp/case-study/iot.php>



NPO-KTS法人会員の広報コーナー(No.5~8)

「元気で住みやすいまちづくり」

KPECC
KITAKYUSHU PROSPERITY ENRICHMENT COUNCIL

北九州活性化協議会

九州最大級の製造現場向け展示会!!
会期 2024年 7/3(水)・5(金)

西日本製造 イノベーション 中小企業テクノ/7エア in九州

西日本製造 検索 中小企業テクノ 検索

小倉 西日本総合展示場 駅 徒歩5分

公益 北九州観光コンベンション協会

インバウンドのお悩みを手軽に解決!
多言語翻訳放送装置

QuaVoice

「話した言葉がすぐ翻訳できる
放送装置があったらいいな」を実現!

- ✓ フレキシブルな翻訳機能
- ✓ 汎用性の高い放送機能

YouTube ニュース/TTSエンジンを搭載
紹介動画もリニューアル

「北九州発! 新商品創出事業」
認定商品に選ばれました!

株式会社 **カンノ製作所**
http://kanno.co.jp

【本社】〒802-0022 北九州市小倉北区上高野 1-5-25
TEL (093)521-9531 FAX (093)511-6470
【営業所】東京、首都圏、大阪、金沢、米子、広島、九州

九州鉄道機器製造株式会社

〒800-0028 北九州市門司区下二十町 2番 30号

取扱製品

分岐器・継目板・レール溶接工事
伸縮継目・九鉄式フックボルト
ケミカルアンカー・トンネル用H形支保工
鉄道車両部品・道路照明灯・タイプレート

演題:「中小企業のDX推進に向けた伴走支援の成果と今後の課題」

講演者: 株式会社ハピクロ 代表取締役社長 中田 佳孝 様

1. はじめに



昨今、ニュース記事などで、デジタルトランスフォーメーション(DXと表記)の取り組みについて紹介されています。中小企業においても、DXの取り組みを推進し、大きな成果を出している企業も出てきました。

当社では、自社運営の保育園での実績をもとに、他の業種・業態の企業様へのDX推進支援を行っています。

ここでは、DXの概要及びDX推進支援の流れ、取り組み事例についてご紹介させていただきます。

2. DXとは?

1)DXの概要

様々な企業・団体が、DXについて定義していますが、当社では「DXとはビジネスをデジタルツールありきで再構築／再定義する」ことだとお伝えしています。こう考えると、DXをシンプルに捉えられるのではないのでしょうか。

2)DXに取り組む狙い

多くの企業がDX推進に取り組んでいるのはなぜでしょう。また、デジタルツールありきで事業や会社運営を行うことで、どのようなメリットが得られるのでしょうか。当社では、以下の2点が挙げられると考えています。

- ① データに基づく客観的な経営判断ができるようになる
- ② 飛躍的な生産性向上・業務効率化が見込める

デジタルツールの導入により、企業内の様々な情報が、デジタルデータとしてリアルタイムに収集・分析できるようになります。まずは、自社の状況を客観的・俯瞰的に把握し、優先的に解決すべき課題を見出すことが重要です。

3. 伴走支援の流れ

支援する企業に対して客観的状況を把握した上で、どのように支援を行っていくべきでしょうか。当社では、次のような流れで伴走支援に取り組んでいます。



4. 伴走支援の事例と成果

当社では、行政機関等と連携して、様々なセミナー開催を含め中小企業へのDX推進の伴走支援を行っています。その事例を次の通り2件ご紹介いたします。

1)めっき企業支援事例

福岡市内のめっき企業(従業員約40名)では、2023年より個別伴走支援を提供しています。当社の伴走支援として、まず課題整理を行い、経営課題である「利益改善」を最優先課題に設定、そこにつながる事業課題・業務課題を洗い出しました。

この企業は、日々の製造日報などを紙面で記録しており、その集計業務を一月分まとめて実施していました。結果、管理サイクルが長くなり、製造状況に対する資源投入判断や品質改善施策が後追いとなり、適切に実施できていない状況となっていました。

この課題に対し、当社保有のペーパーレス化システムをカスタマイズし、製造日報をデジタル化することでリアルタイムに分析ができるシステムを提供しました。現状2ラインでの導入が完了し、1ラインに2時間/月かかっていたデータ収集・分析作業時間が無くなりました。また、生産状況が見える化されたことにより、社員の生産性に対する意識向上効果が得られています。

2)産業機器メーカー支援事例

北九州市内で制御装置／配電盤の設計／製造／試運転などを事業としておられるA製作所様(従業員約60名)では2021年度より伴走支援を行っています。

同社では、これまでに既に様々なデジタル化施策が実施されており、担当者で自社の課題整理ができていた状態でした。社員の作業状況把握、平準化、残業低減を喫緊の課題とされており、当社から作業見える化・リアルタイム分析ツール「PIYOT(ピヨット)」を提供・導入しています。



PIYOTは公益財団法人北九州産業学術推進機構様(FAIS)と共同開発した中小製造業向けツールで、スマホアプリとクラウドシステムを組み合わせることで、簡単に導入・運用できるツールとなっています。

5. 今後の課題

DX推進支援は、設定された課題が解決されるよう、継続した評価が必要となります。導入したツールは習熟するだけでなく、収集したデータを適切に分析することが必要になります。DX推進においては、社員のツール習熟に目が行きがちですが、課題解決のためには経営層自らが経営に資するデータ分析を行う必要があると考えています。

また、昨今の技術は劇的に進化し続けており、導入したツールより優れたものがどんどん世の中に提供されていきます。ツールの定期的な見直しや入れ替えが起こることを導入当初より考えて準備しておく必要があります。

そして、一つの課題が解決したら取り組み終了というわけではなく、次の課題に順次取り組んでいく必要があります。課題把握や仮説検証(試行錯誤)を繰り返し、継続した改善を行う企業風土の醸成が必要だと感じています。

6. まとめ

企業支援は、単に自身の技術提供にとどまらず、支援による解すべき課題の深掘りと、**相手企業の経営に資する取り組み**であることが重要です。

また、DX推進自体は課題解決のアプローチ方法であり、あくまで課題ありきで取り組む必要があります。**手段の目的化にならないよう注意してください。**

これまでの当社の取り組みから、DX推進の伴走支援は企業の課題解決に大きな効果があると感じています。今回の講演が北九州テクノサポートの皆様へのDX推進支援の取り組みの一助となり、北九州の産業がさらに発展していくことを祈念しております。

NP0-KTS法人会員様の広報コーナー(No.9~10)

お掃除ロボット・配膳ロボット始めました!



産業用ロボット安全特別教育実施中!!

ICSS 有限会社 ICS SAKABE

〒802-0061 福岡県北九州市小倉北区三郎丸1-12-17
TEL : 093-932-7480 FAX : 093-932-7481
URL : http://www.icssakabe.com

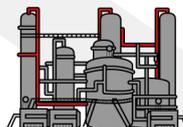


株式会社 新大倉
Engineering, Procurement and Construction

新大倉

検索

工場がお客様です



その工場の

Engineering
設計

Procurement
調達

Construction
工事

が仕事です

2024年度事業計画

■組織

活動組織は、リーダーの交代等で再編成し、6支援グループ及びEA21地域事務局の体制としますが、EA21地域事務局再編の効果をより高め、KTS内の結束を強化し、日々激変する社会情勢に併せて事業内容をアップデートし、グループ再編を含めた活性化をこれまで以上に活発に進めます。

■運営方針

本年度は、既存受託事業(北九州市風力発電人材育成連絡会業務の支援、産業人材育成フォーラム、ビジネスマッチング、EA21事業等)の新事態への適応力を関係機関と連携して確立します。次に、企業が置かれている困難な状況に公的施策と連携して地域企業への応援に力を入れ、収益力強化のため新たな技術開発やマーケット開拓に立ち上がる企業の支援を進めます。KTS事業を支える人材の入会促進と急速に変化する社会・経済環境に対応するための会員自身のリスクリング及び情報共有促進のため、遠隔会議システムを大いに活用した勉強会・研究会の充実と相互連絡会を開催し会員の力を結集するとともに、ホームページ・広報誌の内容充実で情報を積極的に発信し、喫緊の社会ニーズに対応した体制を整え積極的に推進します。

■実施計画

1. 技術・環境経営ものづくり支援 Gr.

(1) 支援活動

- 技術経営支援関連
- 環境経営支援関連
- ものづくり支援関連

当年度より、「技術経営ものづくり支援Gr.」と「環境・省エネ支援Gr.」を統合し、「**技術・環境経営ものづくり支援Gr.**」として再編成致しました。(2024.7.1)

- (2) KTS人材の技術スキル把握・レベルアップとPR
- (3) 公的機関からの仕事の受託促進

2. 産学官連携人材育成支援 Gr.

- (1) 北九州地域連携型インターンシップに関する事業
- (2) 「北九州市風力発電人材育成連絡会」の業務支援に関する事業
- (3) 「SDGs勉強会」の開催

3. ISO・EA21 支援 Gr.

- (1) 各支援Gr.の活動とEA21審査員との連携強化
- (2) EA21認証取得事業者数の拡大
- (3) ISO認証維持・新規取得支援
- (4) グループ会員の相互研鑽(審査・コンサルティング技術の向上)
- (5) 「エコアクション21だより(KTS通信瓦版)」の発行

4. IT活用支援 Gr.

- (1) NPO-KTSのホームページ改版と維持管理体制確立
- (2) 中小企業のIT活用支援
- (3) 「第4次産業革命」勉強会の開催
- (4) テレワーク環境構築による業務効率化とCO₂削減支援

5. 販路開拓ビジネス支援 Gr.

- (1) 課題解決EXPO2024のビジネスマッチング(BM)支援事業
- (2) 北九州商工会議所アドバイザー制度等による支援事業

6. 広報・デザイン支援 Gr.

- (1) KTS広報事業
- (2) 中小企業の広報誌編集発行や広告デザイン支援
- (3) KTS広報事業関連情報管理



KTS実施事業にご興味のある法人・個人様は、093-873-1453 又は info@npo-kts.org までどうぞ！

NPO-KTS法人会員様の広報コーナー(No.11~16)



北九州から全国へ 気象とものづくりで 企業の安全を支える

○気象の総合コンサルティング
○気象海象観測・予測情報提供
○気象観測機器レンタル

気象庁予報業務許可第51号

システムメテオ
System & Meteorology

〒802-0979 北九州市小倉南区徳力新町2-8-11
TEL:093-965-1033 FAX:093-965-1122
<http://www.sysmet.jp/>

国土交通省NETIS登録商品



独自の技術力で豊かな未来を創造します。

株式会社 測研

【総合気象観測】 【波浪調査:海底設置型波浪計】 【自社開発:潮位観測システム】





気象・海洋・河川調査解析 / 港湾・漁港・海岸のアセットマネジメント

北九州市戸畑区境川2丁目4番5号 TEL:093-883-1511
<http://www.sokken.com>

プラスチック 金型

『品質:良い』『納期:早い』『価格:安い』

製品用
設計・製造

- ◆自動車部品
- ◆医療機器
- ◆光学機器
- ◆家電製品 (ほか)

西日本精機株式会社

〒808-0109 北九州市若松区南二島2丁目25-13
TEL:093-701-2395 FAX:093-701-2509
URL: <https://www.nishinihonseiki.co.jp/>





株式会社アングル UNCLE

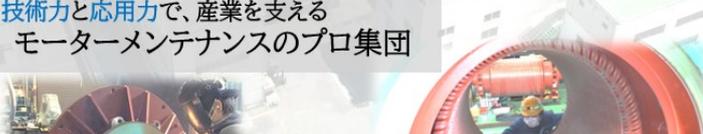
地方自治体システム開発・販売 / 会計システム販売
その他システム開発 / コンピュータ関連機器販売

本社 福岡県京都郡苅田町京町一丁目11番地5
開発センター 福岡県京都郡苅田町港町4番5号
TEL 093-436-5788 FAX 093-436-5789
熊本営業所 熊本市中央区水前寺公園28番36号
TEL 096-288-0035

URL <http://www.e-uncle.co.jp/>



技術力と応用力で、産業を支える
モーターメンテナンスのプロ集団



株式会社 野村工電社

〒755-0065
山口県宇部市浜町2丁目3番19-1号
TEL:0836-31-0601

遠賀から世界へ

平均年齢 33 歳
若者の挑戦！




夢のあるものづくり

株式会社ワークス

〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町虫生津 1445-1
TEL:093-291-1778 FAX:093-291-2728

エコアクション21地域事務局環境未来 2024年度事業計画

1.エコアクション21(EA21)導入セミナー開催

福岡県、北九州市自治体イニシアティブプログラム、山口県関係企業グリーン化プログラムの前段階として、エコアクション21の概要説明と取得事業者の活動事例発表を実施する。

2.自治体イニシアティブプログラム、関係企業グリーン化プログラム、アクセラレーションプログラム開催

認証・登録取得希望事業者を対象に、EA21審査員が、集合講座を開催する。

3.認証・登録業務推進

登録審査(新規、中間、更新)、地域判定委員会開催、地域普及戦略会議を開催する。

4.認証・登録事業者向けフォローアップセミナー開催

認証・登録事業者に対して、講演、事例発表、意見交換、相談会を開催する。

5.エコアクション21審査員の力量向上研修会開催

広島、山口、福岡、大分、佐賀の各県のEA21審査員を対象に、「力量向上研修会」を開催する。

6.永年継続認証・登録事業者に感謝状授与

永年エコアクション21に取り組んでこられた事業者に対し、中央事務局からの感謝状を授与する。

7.北九州市長感謝状授与制度の対象事業者の選考・上申

北九州市内の認証・登録事業者から環境経営の取組が優れている事業者を北九州市長感謝状授与候補として選考の上、市へ上申する。

8.当地域事務局環境未来での認証・登録事業者(約320社)

地球環境保全のためには 中小企業の皆様がエコアクション21の活動に参加され、二酸化炭素等の温室効果ガスの削減他に取り組みまることが今後ますます不可欠なようになってきています。1社でも多くエコアクション21の認証を取得されますようお願いいたします。

2024年度事業活動開始状況

★2024年度地域連携型インターンシップ(ISP)登録企業開拓活動

— 北九州地域産業人材育成フォーラムとの協働 —

北九州地域産業人材育成フォーラムの地域連携型ISPは、地域の理工系大学や高専の学生の地元企業就職率向上に大きな役割を果たしています。KTSは、3月下旬から候補企業約320社に対してコーディネーター15名で受入登録企業開拓を行っています。図に示すように研修型(短期)と実践型(長期)ともにコロナ禍からの回復が続いています。



★展示会ビジネスマッチング(BM)活動

— (公財)北九州観光コンベンション協会との協働 —

この支援活動は、北九州の企業OBで構成されるKTSの知識と人脈の技術集団が地元企業様に出席企業の紹介、会期中の商談・技術相談等をきめ細かくサポートするものです。

2023年度は商談金額12,000万円を超える成果を得ました。

2024年度の展示会は、課題解決EXPO2024として西日本製造技術イノベーション、中小企業テクノフェア、西日本DX推進フェア等、7月3日～7月5日の3日間、西日本総合展示場で同時開催されます。

今年度は約270社を超える企業様が参加され、新しい技術の紹介、情報の提供など期待できる内容となりました。KTSでは特にDXに関する事前研修を行ない、出展企業と地元企業とのBMを実施し成果に結びつけ、活気のある地域経済づくりに、16名のコーディネーターは貢献いたします。

NPO-KTS法人会員様の広報コーナー(No.17~21)

「現場の見える化」を実現する

電波式レベル計 ガストモニタ エアガストモニタ

株式会社 マツシマ メジャテック

〒807-0837 北九州市八幡西区別松東一丁目8番18号
TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735

お問合せはコチラ

マツシマメジャテック

ステンレス・アルミニウム・チタン

金属研磨で“価値”を与える会社

東洋ステンレス研磨工業株式会社
TOYO STAINLESS-POLISH INDUSTRY CO., LTD.

〒818-0131 福岡県太宰府市水城6丁目31-1
TEL: 092-928-3733(代) FAX: 092-928-5430(代)
e-mail: info@toyo-kenma.co.jp
HP: https://www.toyo-kenma.co.jp/

POINT 01 安全・迅速

POINT 02 3D同時計測

トンネル点検車両

POINT 03 高精度

POINT 04 直観的!!

Only one 北九州オンリーワン企業
Kitakyushu Only One Company 2011

ドローンによる目視検査(空撮)

30倍ズームカメラ
及び赤外線サーモカメラ搭載

MTRCE210RTK

計測検査株式会社

北九州市八幡西区陣原 1-8-3
TEL: 093-642-8231

ベストプランを
ご提案します!

選別機械 / コンテナ製作
搬送設備 / リサイクル設備
コンベアカバー

設計・施工・修理・メンテ

三栄機工株式会社
福岡県知事許可 (般-21) 第99106

http://www.sanei-kikou.com/

一般小荷物搬送設備

福岡県京都郡苅田町若久町3-22-5 TEL 093-434-2737

フロライト株式会社
PROLIGHT

水銀灯に代わる次世代照明

無電極ランプ **エコ太郎**

- 無電極ランプ「エコ太郎」製造
- 高天井・検品・検査照明
- スポーツ・体育館照明

明るいのにも
まぶしくない

MADE in JAPAN

省エネ 消費電力は水銀灯の1/3
長寿命 寿命はLEDの約1.5倍

Electrodeless Lamp
ECOTARO

随時受付

会員募集

☆ 第一線をリタイアされた皆様 ☆

あなたの経験や知識・技術、人脈を生かしませんか!

☆ 北部九州、山口地域の企業様 ☆

経営・技術等の御社課題を協働で解決しませんか!

NPO法人
北九州テクノサポート

TEL 093-873-1453
e-mail Info@npo-kts.org

株式会社マツシマメジャテック

令和6年5月27日に定期広報誌としては5年ぶりの取材として本社訪問、代表取締役社長池田憲俊様、取締役角本賢治様にお話を伺いし、Waveラボ見学もさせて頂きました。(堀理事・林理事)

■会社の沿革と業況

同社は1946年に松島機械研究所として創業、株式会社化し産業機器開発・製造・販売事業を行い、2014年に(株)マツシマメジャテックに社名変更し、10年が経過して新社名も浸透してきた。2019年の松島徹代表取締役会長・池田憲俊代表取締役社長ご就任以降、3ヶ年中期計画を着実に実行され産業用計測機器メーカーとして躍進を続けている。本社・2工場、検証ラボ、4営業所並びに海外2拠点をもち、海外事業展開ではJETROハンズオン支援で信頼できる現地パートナーを選定し、ビジネスチャンスの拡大を図っている。ISO9001を早期導入して現在は全社品質/環境統合システムをSDGs活動とリンクして継続的な向上を図り、また、社是の追求から働き方改革を積極的に行い、関連団体への加盟や育休、時差出勤、フレックス、テレワーク等でワークライフバランスを向上し、働きやすい職場環境を整えている。社内DX化としてコロナ禍で訪問営業が困難な中、営業DX化での顧客開拓や生産管理システム再構築による業務簡素化や現場のペーパーレス化等を実現している。

近年の新商品として電波式水位計(NETIS登録)やエアダストモニター、エアパーティクルモニター製造・販売等を実現し、更にミリ波レベル計を開発し、展開を強化している。

■今後の展開と課題

新商品開発と海外展開強化を進めて行く。注力商品のレーダー式ミリ波レベル計は、高測定精度、付着警報機能(特許)、方位角度検出やBluetooth搭載等、出色の開発品であり、2022年初頭に新設した専用検査施設(Waveラボ)での性能検査・製品立会や充実したサポート体制等で顧客満足度を高める。

また、リリース済みの潮位計測システムや搬送最適化システム等のパッケージ商品の拡充を進め、今後のセンサー情報のAI処理まで含めた統合システムニーズの高まりに対し、顧客ニーズに即したソリューション提供を行うべく協業化も含め対応力を高め、ファーストコールカンパニーを目指す。

■KTSへの期待

新商品開発に伴う支援と関連する多面的な支援をお願いしたい。

◇会社概要

- 所在地: 北九州市八幡西区則松東1-8-18
- TEL: 093-691-3731
- 代表者: 代表取締役社長 池田 憲俊
- 設立: 1946年1月
- 資本金: 3,500万円
- 従業員数: 125名
- 事業: 粉体・液体用レベル計レベルスイッチ(レーダー式ミリ波・マイクロ波レベル計等)、粉塵計(ダストモニター、ダストスイッチ等)、コンベア保護機器(スピードスイッチ、速度閉閉器等)、位置検知器(位置発信器、変位検出器等)

URL: <https://www.matsushima-m-tech.com>



Waveラボ



ミリ波レベル計

西日本精機株式会社

令和6年5月30日に定期広報誌の初取材として本社を訪問、代表取締役萬財正樹様、取締役萬財佑樹様にお話を伺いし、工場見学もさせて頂きました。(吉田理事・林理事)

■会社の沿革と業況

同社はものづくりに必須の金型製造を請負う専門会社として先代が創業し、3代目に引き継ぐ時期にある。負荷変動の多い業界で経営安定化を目指し事業の多角化に注力し、住宅設備、家電、強電関係のプラスチック製品の射出成形用金型製造から光学機器、FA、雑貨、ステーションリー(文具)分野にまで販路を広げ、近年は自動車向けが主力事業である。最近では高精度を要求される医療・高級化粧品・リニアガイドに進出している。同社では自社で金型成形や製品開発も行い、製造過程のノウハウを蓄積し金型設計・製作に活かし、顧客と共に世代を超えてものづくり魂を受け継ぐ会社を目指している。

■今後の展開と課題

超高精度金型への対応要請を受け同社の強みである加工技術力を活かし、その要求精度に対応できる新加工設備を導入しており、未来に向けた方策として高精度加工を必要とする金型製造分野に注力する。併せて、既存顧客へも超高精度な金型製作技術をPRし、より高精度で高付加価値の金型製品受注に結びつけ同社の事業価値を高め次世代にバトンをつなぎたい。特に医療は国内での製造を求められる分野であり安定した需要が期待できる。併せて、既存事業にも小物品を作っている業界では多数個取りの要請もあり、樹脂流れを万遍なく均一にするため特に高精度な金型が求められる。この超高精度加工技術をテコに、既存顧客からも“より高付加価値な金型受注”が期待できる。また、新規と既存製品のバランスにも配慮した事業を進めたい。

なお、顧客要請で自社設備では対応できない部品加工の依頼があった場合、日本金型工業会などの協力によりレベルアップを図り、早期に顧客から評価いただける関係構築を進め、メーカー様の縁の下の力持ちとなる企業を目指して参りたい。

■KTSへの期待

“日本のものづくり素晴らしさ”を伝承し次世代にも受け継がれるように“若手の育成や技術の伝承・高度化”に力を貸して頂きたい。



本社



製造ライン事例

◇会社概要

- 所在地: 北九州市若松区南二島2-25-13
- TEL: 093-701-2509
- 代表者: 代表取締役 萬財 正樹
- 設立: 1983年5月
- 資本金: 4,000万円
- 従業員数: 60名
- 事業: 汎用プラスチック・エンジニアリングプラスチック。熱硬化性射出成型金型の設計・製造並びにプラスチック製品の射出成型(自動車、医療機器、光学機器、住宅設備、産業機器、ロボット等、多分野)

URL: <https://www.nishinipponseiki.co.jp>

退任理事紹介
お疲れ様でした。
重田 千明、
末松 正典、
西 哲郎
(以上、3名、50音順)

新任理事紹介



寺山 雅也
てらやま まさや
寺山 雅也 日立マクセルOBでその後、九大や企業で水素技術関連に携わりました。専門は海外事業推進や新規製品企画開発とリスクマネジメントです。2014年KTS入会(産学官連携、広報)ですが、現在も別の会社に勤務し、会に未貢献です。今後は会の一員として広報などでお役に立ちたいと思います。

会員動静 (2024年4月1日現在)

正会員	法人会員 (賛助会員・協賛会員)
69名	21組織

正会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費等で運営されております)

- ◇企業の第一線をリタイアされた皆様、お持ちの知識・技術・経験・人脈を生かして第二の人生を地域社会への伝承、更なる発展のために貢献・恩返ししてみませんか?
- ◇福岡、山口の企業様、当NPO法人との協働で経営・技術の課題解決など、よりよい成果を目指してみませんか?もちろん、会員加入は必須ではありません。(^^)

検索 北九州テクノサポート

<http://www.npo-kts.org/>

正会員・賛助会員の申し込み受け付け中
ホームページから申込用紙をダウンロードできます。



NPO法人 北九州テクノサポート
広報誌「北九州テクノサポート通信 Vol.43」

2024年7月1日 発行

編集・発行: NPO法人北九州テクノサポート(広報・デザイン支援Gr.)
北九州市戸畑区中原新町2-1 北九州テクニクスビル 806号
TEL/FAX: 093-873-1453 E-mail: info@npo-kts.org